

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園4番町7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp>/E-mail info@orgel-horie.or.jp

シリンダー・シリーズ 2 ～フォルテ・ピアノ～

1800年頃に発明されたシリンダーオルゴールは、時計職人が手製で作ることもあって非常に高価な品物でしたが、音楽を気軽に楽しむことができる音楽再生装置として、王侯貴族やブルジョワジーの間で流行し、大いに隆盛を極めました。結果、様々なメーカーや職人が競い合い、豊かな演奏表現を可能にする多様な機構がオルゴールに加えられようになりました。1840年頃にはスイスのニコル・フレール社が、シリンダーオルゴール時代の最も優れた音楽表現の一つと言われる機構、ピアノ・フォルテを発明します。

ピアノ・フォルテ
PIANO-FORTE
ニコル・フレール
NICOLE FRÉRES
1850年
スイス
50cm×440cm(直径×長さ)
H155×W653×D180



通常の櫛歯 ← → 短い櫛歯

チューンシート

装飾的なケース(蓋の写真)



ピアノ・フォルテはシリンダーオルゴールの演奏に強弱をつける機構を指しますが、そのメカニズムはメーカーや機種によって異なります。上の写真は、ニコル・フレール社のピアノ・フォルテの内部を写したものです。左に通常の長さの櫛歯が並んでおり、右に通常よりも短くカットされた櫛歯が並んでいます。短くカットされた櫛歯は、通常の櫛歯よりもピンとの接触が弱くなるので、発生する音はピアノ(小さな音)になります。こうして、通常の櫛歯から奏でられるフォルテ(大きな音)との対比によって強弱をつけるのです。またこの時代のオルゴールには、どのような曲が収録されているのかを示すチューンシートや、装飾的なケースなど、初期のオルゴールには見られなかった様々な工夫が施されるようになります。

ピアノ・フォルテ
PIANO-FORTE
マリノン
MALIGNON
製作年不詳
スイス
52cm×330cm(直径×長さ)
H125×W515×D175



長さの違うピンが刺さった
シリンダー



鉛がついた羽

一方、こちらはマリノン社のピアノ・フォルテの内部です。マリノン社の場合は、櫛歯ではなくピンに長短の差異が見られます。短くカットされたピンは櫛歯との接触が弱くなるのでピアノ(小さな音)、通常の長さのピンはフォルテ(大きな音)を奏でます。ところで、ピアノ・フォルテの構造に見られるように、櫛歯あるいはピンの長さが不均等である場合、演奏の際シリンダーに加わる力の強さも不均等になり、シリンダーの回転速度を一定に保つことが難しくなります。そこでマリノン社のピアノ・フォルテには、通常のカバナー(空気抵抗によってオルゴールの動力=ゼンマイの力を調節し、シリンダーの速度をコントロールする機構)に工夫が凝らされており、カバナーの羽に鉛をつけることによって、遠心力を作りシリンダーの回転速度にブレが生じないようにコントロールを行います。このような、カバナーに鉛をつけるという構造はマリノン社独自のものであり、当時のオルゴールメーカーがより良い演奏を求めて他社の機構との差別化を図ろうとした様子が伺えます。

通常プログラム

4月～6月

オルゴールとオルガン

19世紀のオルガン奏者のように、
手廻しオルガンを実際に体験演奏できます。

毎週木曜～日曜（祝日）

① 10：30

② 13：00

③ 15：00

* 20名様以上の団体の方は事前予約で
火曜水曜も開館致します。



もっと楽しみたい方は。。

春の庭園特別公開

4月28日（日）～5月26日（日）

木曜～日曜、祝日

* 20名様以上の団体の方は事前予約で
火曜水曜も開館致します。

オルゴールの演奏後、歴史の面影を残す当館の
庭園で新緑のもみじとツツジ科の花を
ご観賞下さい。

ワーグナー&ヴェルディ生誕200年
特別演奏

庭園特別公開中の毎週日曜

大型自動オルガン「エオリアンオーケストラF
型」の生演奏を新緑の風にのせてお届けします。
庭園でのほんのひととき、白亜の洋館から聞こえ
てくるワーグナーとヴェルディの音楽をお楽し
み下さい。（雨天時中止）

毎週日曜日 午後2時より

オルゴール博物館ニュース



今年も4月28日から庭園公開を行い
春の日差しの中で満開のツツジを楽しんで頂きました。
またワーグナー&ヴェルディの特別演奏にも
多くの方に足を運んで頂いています。

補修工事を終えた旧堀江邸の白い壁に
ツツジが映えます。